県立新発田病院だより

第73号　2024年10月発行

新潟県立新発田病院
〒957−8588　新発田市本町１−２−８
TEL.0254−22−3121　FAX.0254−26−3874
http://www.sbthp.jp/

【当院の基本理念】

1．県北の急性期高度医療を担い、質の高い医療を提供します。
2．患者さんに優しく安全で信頼される病院を目指します。
3．保健福祉・医療機関と連携して地域の基幹病院としての役割を担います。
4．教育・研修を積極的に行い、医療の未来に貢献できる人材を育てます。

目次

Ｐ１．巻頭言：ヘルスリテラシーを高めましょう
Ｐ２．病院トピックス:「能登半島被災地の医療支援にかかわり」
Ｐ３．「生命維持管理装置をはじめとした医療機器と臨床工学技士」、ミニクイズ、患者さんの権利
Ｐ４．患者さんの声、編集後記

ヘルスリテラシーを高めましょう

副院長　川　合　弘　一

近年「リテラシー（literacy）」という言葉をよく見聞きするようになりました。リテラシーの定義は色々あるようですが、一般的には「特定の分野における情報を適切に処理・活用できる能力」とされています。様々な分野と関連付けて、○○リテラシーといった使われ方が多いようです。最近リテラシーについて気になったことがありましたので、少し触れてみたいと思います。

先日、久しぶりに東京の渋谷駅に降り立ったところ、駅前の高いビルの壁一面に掲げられた「STOP！地面師詐欺」という巨大な看板が目につきました。久しぶりに見た地面師という単語に、なんで突然地面師？と疑問に思っていたところ、どうやらNetFlixでやっている地面師のドラマの宣伝だったようです。地面師といえば、数年前に積水ハウスが土地代として五十億円以上を地面師に騙し取られたという事件が記憶にまだ新しいところです。プロの不動産屋が騙されたのですから、地面師の狡猾さには大変驚かされました。不動産リテラシーがしっかりしていないと、人によっては莫大な損害を被ることがあるということですね。

８月８日に日向灘地震が発生した後、南海トラフ地震臨時情報が発表されました。太平洋沿岸の事前避難対象地域にお住いの方々は、とても不安な日々を過ごされたかと思います。また、地域の社会・経済に大きな影響を与えたと報道されていました。そんな中、SNSで○月△日に南海トラフ地震が起きる、といった科学的根拠のない偽情報が数多く拡散され、不安をあおったそうです。災害時の偽情報は人の生死にも関わる可能性があり、非常に悪質です。混乱している時ほど情報リテラシー、メディアリテラシーが重要であり、冷静な判断が求められます。そして自分自身が不確かな情報を不用意に拡散しないことも大切であると感じました。

さて、医療に関してもリテラシーは大切です。健康や医療に関して正しい情報を入手し、理解して活用する能力は「ヘルスリテラシー」と呼ばれています。新興感染症である新型コロナウイルス感染症の勃発時には、皆さんがその重要性を認識されたことでしょう。市販のサプリメントや健康食品を摂取されている方も多いと思いますが、これもリテラシーが必要です。根拠のない効果を謳った誇大広告には惑わされないように気をつけてください。また、最近では紅麹を用いたサプリメントによる健康被害が大きく報道されました。効果の有無だけでなく、副作用についても注意しておく必要があります。大事な情報をいち早く入手し、適切な対応をとることも健康維持に重要です。

インフォデミックといわれる情報過多の時代に、情報を取捨選択し、正しい医学情報を得るのが難しいことも少なくありません。まずは情報源が信頼できるのか確認しましょう。判断に迷う場合や理解が難しい専門的な情報については、かかりつけ医や主治医に聞いてみてください。ヘルスリテラシーを高め、健康づくりに役立てましょう。

能登半島被災地の医療支援にかかわり

看護副部長　小　野　義　夫

「ARROWS、PeaseWinds、Huma、DMAT、DHEAT、DPAT、JMAT...」。

これらは能登半島地震の際、被災地に参集した医療団です。ARROWS（空飛ぶ捜索医療団）、PeaseWinds（国際人道支援団体）、Huma（災害人道医療支援会）、DMAT（災害派遣医療チーム）、DHEAT（災害時健康危機管理支援チーム）、DPAT（災害派遣精神医療チーム）、JMAT（日本医師会災害医療チーム）と呼ばれ、災害時に活動します。新潟県内にも大きな被害をもたらした能登半島地震では、こうした医療団とともに日本赤十字社や日本医師会、災害看護学会、病院薬剤師会、保健師会、栄養士、歯科医師会、自衛隊等、多くの組織・職種が参集し、被災地域の医療・保健・福祉の維持のため支援活動を行いました。

災害拠点病院である当院も、医師ら他職種で構成するDMAT3隊と災害支援ナース1名が石川県珠洲市へ入り支援活動を行いました。能登半島先端に位置する珠洲市では、停電や断水を受け、中核医療を担う珠洲市総合病院のほか開業医でも、薬が処方できない、診療が行えないなど、深刻な状況となっていました。特に、入院患者や入所者を抱える病院や介護施設では建物の損壊や職員の被災のため、残された職員よる不眠不休の勤務が行われていました。また、市全体では交通の寸断により避難所避難者及び自宅避難者の数が把握できず、住民の医療保健ニーズの把握が困難な状況が続いていました。そのため、各医療団等が連携して、交通の確保や病棟夜勤及び救急外来勤務の代行、施設入所者の施設外搬送を行い、現地職員を支援しました。また、半島地域を手分けして巡回し、避難者の健康状態や薬の服用状況等を聞き取りながら医療保健ニーズの把握に努めるとともに、昼夜を問わず働いている市役所職員の健康管理にもあたりました。

手や顔が洗えない、トイレが流せない等の状況での支援活動には多少の困難さはありましたが、多くの医療団と協力し現地活動を遂行できたことは災害支援活動の貴重な経験となりました。

半年を経ても、被災地ではいまだに損壊建屋の撤去や上下水道の復旧が完了していない地域もあります。住民が安心して避難先から戻るには難しい状況もありますが、祭事が復活するなど復興に向けてがんばっている姿も映し出されています。当院の医療支援はいったん終了しましたが、物産品の購入や観光など容易にできる支援もありますので、今後も機会を得て支援に参加していければと思います。

生命維持管理装置をはじめとした医療機器と臨床工学技士

臨床工学技士長　岡　崎　英　輔

現代の医療では多くの医療機器が用いられ、なかでも患者さんの臓器を代行する生命維持管理装置は先進医療において欠かすことができません。みなさんもテレビドラマやドキュメンタリー番組などで目にする機会が多いのではないでしょうか。今回はそんな医療機器とその医療機器に大きく携わる「臨床工学技士」を紹介したいと思います。

臨床工学技士は病院の中で生命維持管理装置を中心とする高度医療機器の操作および保守を行うメディカルスタッフの一員となります。医療職種の中では比較的新しい職種となっており、一般の方々からの知名度も低い職種であると言えます。ひと昔前までは臨床検査技師や診療放射線技師と混同されることも多かったのですが、テレビドラマなどの影響もあり少しずつ認知されるようになってきました。生命維持管理装置とは臓器の一部を代行して、患者さんの命をつなぐ装置のことで、心臓手術の際に心臓と肺の代行をする人工心肺装置や呼吸の代行をする人工呼吸器、腎臓の代行をする人工透析装置などがあります。コロナ禍で話題となったECMO（エクモ）も肺の代行をする生命維持管理装置となります。臨床工学技士はこのような生命維持管理装置をはじめとした、数々の医療機器についてのスペシャリストとして医療現場で活躍しています。

当院では医療機器の管理を集中して行うMEセンターを設置しています。MEはMedical Engineering（医用工学）の略で医療に関連した工学機器のことを言います。臨床工学技士はこのMEセンターを中心に手術室やICU、透析室などに出向して、業務を行っています。特に前述の生命維持管理装置を用いた治療にあたる際は、その操作や設定に関する提案などを医師や看護師と協働して行い、患者さんにより良い治療の提供を目指しています。また保守に関しても、MEセンターにて機能点検や精度点検を行い、安心安全な医療機器の提供を心掛けています。医療機器は日進月歩の世界で次々に新たな機器が開発されています。そうした医療機器への知識を日々アップデートしながら、臨床工学技士は業務にあたっています。医療機器について疑問がある際は、わたしたち臨床工学技士が対応いたしますのでお近くのスタッフまでお声がけください。

10月20日は「世界骨粗鬆症デー」です。骨の健康を保つには栄養と適度な運動が大切です。次のうち、骨を健康に保つために最も効果的な運動はどれでしょうか？

① ヨガ
② 水泳
③ ウォーキング

回答は４ページにあります。

患者さんの権利

○患者さん並びにご家族は、患者さんの病状、医療の内容につき十分な説明を受けることができます。
その上で患者さんは、自らの希望する最適な治療を選択することができます。

○患者さんは、プライバシーを守られ、個人として尊ばれる権利があります。
国籍、人種、信条、社会的身分、経済的状態などによる差別を受けることはありません。

○患者さんは、安全で快適な療養環境の提供を受けることができます。また患者さん並びにご家族は、自らの希望・意見を述べることができ、それを尊重される権利があります。

投書箱から

《患者さんの声１》

この度は入院につきお世話になりました。おいしかったメニューは夕食のシチューでした。次に昼食のひじき煮がすごくおいしかったです。

朝早くからご苦労様です。お陰様で明日元気に退院です。ありがとうございました。

《回答１》

感謝の言葉をいただき、ありがとうございました。今後も、栄養課スタッフ一同、安全でおいしい食事作りを心がけていきたいと思います。

ありがとうございました。

《患者さんの声２》

傷病での手術、入院は初めての事でしたので、不安もありましたが、「こんな事、聞いてもいい？」の様な事にも丁寧に耳を傾け応えてくださいました。〇〇先生、診療に当たって頂いた先生方、手術室の看護師さん、さりげなく手を貸して下さる看護助手の方々、病室の清掃時にいつも挨拶をして下さるスタッフの方、やる気の出る声かけをして下さる理学療法士の先生、そして明るくて優しくて楽しくてタフな病棟の看護師の方々、大変お世話になりました。

《回答２》

感謝のお言葉を頂き、ありがとうございます。

スタッフの励みになります。

今後もスタッフ一同、患者さん、安心して入院生活が送れるよう努めてまいります。

《患者さんの声３》

マンモとってくれた方がとても感じが良くて、リラックスして検査できました。こんな方が増えると病院のイメージが変わり安心して来院できますね。ありがとうございました。

《回答３》

温かなメッセージありがとうございます。放射線撮影技術にお褒めの言葉を頂戴し大変うれしく思います。スタッフの励みになります。

中でも、マンモグラフィは患者さんのご協力が不可欠な検査です。リラックスして受けていただくことで、その結果、良い画像を提供させていただくことができます。

この度は患者さんにとって有益な画像を提供することが出来、大変うれしく思います。

今後、より一層安心してご来院いただけるよう努めてまいります。

ミニクイズ ～回答と説明～

答え　③ ウォーキング

骨を健康に保つためには骨に刺激を与えることが効果的です。かかとの骨に刺激が加わるウォーキングや散歩などはおすすめの運動です。無理のない範囲でコツコツ続けていきましょう。

編集後記

新発田病院だよりをご覧いただきありがとうございます。

能登の震災で始まった１年ですが、夏にはオリンピック・パラリンピックでの地元選手の活躍や佐渡金山の世界文化遺産登録など、明るい話題に励まされました。成果にたどり着くまでの努力の過程を想像すると、尊敬の気持ちが湧いてきます。力を発揮するためには、どのようなときでも柔軟に対応できるように、日ごろからの備えが大切だと思います。病院も有事に機能を発揮できるように備えておく必要があると感じました。

《編集委員》

中川　範人	榊原　清一	浅野　堅策
上杉　　史	加茂　隆太	神田　真志
小林　　航	柏木　夕香	大橋　典子
高野　正司	佐藤　拓也	草間　　涼